



【 「学校の特徴」として進める教育実践 】

- 今後、学校の特徴を明確に打ち出して、実践する必要があります。4月24日（土）の学習参観時に、井波小学校のグランドデザイン（学校経営全体計画）として、学校の特徴を含めた学校経営に関する用紙をお渡しします。そこにも記載してありますが、井波小学校の大きな特色は、次のとおりです。

「井波教育」2本の柱（A、B）

- A：生き方教育** ⇒ 失敗を恐れなくて、自分の課題や願いに向けて、積極的に挑戦・努力する主体的な子供を育てる教育。その過程で、知識や技能を獲得し、仲間の協力を得る、仲間を助けるなどの協調性が育まれる。前向きな生活への構えをつくる。
- B：ふるさと教育** ⇒ 地域の伝統的な産業、文化、自然、それらに関わる人について考える教育活動を積極的に取り組み、地域への誇りと愛着をもつ子供を育てる教育。

「井波学」3本の矢①②③

- 井波学① 追究学習** ⇒ 子供が自分の課題をもって「一人学習」で追究を進め、適宜「聴き合い学習」を行い、仲間の考えや取組を参考にして、自分の生き方（見方・考え方・感じ方・行い方）を見つめる学習。「生き方教育」のための学習。年に1～2回実施。
- 井波学② ふるさと学習** ⇒ 井波中学校と連携して取り組んでいる「井波学 ふるさと学習」に沿って実践する学習。「ふるさと教育」のための学習。
- 井波学③ 道徳学習** ⇒ 「生き方教育」「ふるさと教育」のどちらにも深い関係があり、特に「思いやり」の視点を重視して行う学習。

- 上記のついては、令和3年度から少しずつ取り組んでいます。大人もそうですが、子供の育ちは、**数年間かけて、一貫性をもって地道に取り組んで初めて実現するもの**です。昨年度は「種を撒いた」ので、今年度は「水をやり」、今後「花が開く」という精神で取り組んでいきます。教職員の授業力や教育観も、昨年度より高まりました。私は子供、教職員の伸びようとする力が発揮されるよう、見守る、支える、励ますなどの働きかけをしてまいります。

